



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月30日

上場会社名 株式会社 大光銀行
コード番号 8537 URL <http://www.taikobank.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 川合 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 近藤 慎一

TEL 0258-36-4111

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,472	5.8	1,288	29.9	883	59.3
2024年3月期第1四半期	5,812	6.1	991	37.2	554	12.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 364百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 1,328百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第1四半期	92.74	91.64
2024年3月期第1四半期	58.57	57.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,696,940	77,569	4.5
2024年3月期	1,625,132	78,165	4.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 76,904百万円 2024年3月期 77,509百万円

(注) 「自己資本比率」は(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期		25.00		25.00	50.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,000	9.0	1,640	20.2	1,090	8.9	114.65
通期	20,190	8.0	3,280	0.1	2,170	26.4	228.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	9,671,400 株	2024年3月期	9,671,400 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	141,069 株	2024年3月期	150,037 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	9,521,818 株	2024年3月期1Q	9,463,243 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	P. 6
(会計方針の変更に関する注記)	P. 6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	P. 6
(修正再表示に関する注記)	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
3. 決算補足説明資料	P. 7
2025年3月期第1四半期決算説明資料	P. 7
(1) 損益状況(単体)	P. 7
(2) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	P. 8
(3) 自己資本比率(国内基準)	P. 9
(4) 有価証券の評価損益(単体)	P. 10
(5) 預金等、貸出金の残高(単体)	P. 10
(6) 預り資産(末残)の状況(単体)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当行グループの当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加に伴う資金運用収益の増加や役員取引等収益の増加があったものの、その他経常収益の減少などにより、前年同四半期比3億40百万円減少の54億72百万円となりました。経常費用は、資金調達費用や営業経費が増加したものの、その他業務費用やその他経常費用が減少したことなどにより、前年同四半期比6億38百万円減少の41億83百万円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同四半期比2億97百万円増加の12億88百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比3億29百万円増加の8億83百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産は1兆6,969億40百万円(前年度末比718億8百万円増加)、純資産は775億69百万円(前年度末比5億96百万円減少)となりました。主要勘定につきましては、貸出金は1兆1,400億94百万円(前年度末比79億90百万円減少)、有価証券は3,556億40百万円(前年度末比25億17百万円増加)、預金等(預金+譲渡性預金)は1兆4,991億44百万円(前年度末比613億51百万円増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

本業績予想は、現時点において入手可能な情報や合理的であると判断する一定の前提に基づき算出しておりますが、今後、状況の進展や事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	85,979	164,580
金銭の信託	2,966	2,965
有価証券	353,123	355,640
貸出金	1,148,084	1,140,094
外国為替	2,305	2,143
その他資産	12,624	10,312
有形固定資産	14,668	14,830
無形固定資産	864	842
退職給付に係る資産	3,724	3,766
繰延税金資産	1,941	2,329
支払承諾見返	4,435	4,953
貸倒引当金	△5,587	△5,520
資産の部合計	1,625,132	1,696,940
負債の部		
預金	1,399,881	1,465,754
譲渡性預金	37,912	33,389
債券貸借取引受入担保金	23,998	27,694
借入金	70,200	78,400
外国為替	14	22
その他負債	8,189	7,020
賞与引当金	413	219
役員賞与引当金	10	8
睡眠預金払戻損失引当金	328	322
偶発損失引当金	140	145
再評価に係る繰延税金負債	1,440	1,440
支払承諾	4,435	4,953
負債の部合計	1,546,966	1,619,370
純資産の部		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,208	8,208
利益剰余金	56,902	57,538
自己株式	△312	△293
株主資本合計	74,798	75,453
その他有価証券評価差額金	△542	△1,797
土地再評価差額金	2,813	2,813
退職給付に係る調整累計額	439	435
その他の包括利益累計額合計	2,710	1,450
新株予約権	139	137
非支配株主持分	516	527
純資産の部合計	78,165	77,569
負債及び純資産の部合計	1,625,132	1,696,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	5,812	5,472
資金運用収益	3,633	3,947
(うち貸出金利息)	2,864	2,927
(うち有価証券利息配当金)	703	935
役務取引等収益	829	942
その他業務収益	31	30
その他経常収益	1,318	551
経常費用	4,821	4,183
資金調達費用	58	106
(うち預金利息)	37	80
役務取引等費用	483	500
その他業務費用	280	98
営業経費	2,959	3,066
その他経常費用	1,038	411
経常利益	991	1,288
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	4	0
固定資産処分損	4	0
税金等調整前四半期純利益	987	1,288
法人税、住民税及び事業税	280	221
法人税等調整額	142	171
法人税等合計	423	393
四半期純利益	563	895
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	554	883

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	563	895
その他の包括利益	765	△1,259
その他有価証券評価差額金	759	△1,255
退職給付に係る調整額	5	△4
四半期包括利益	1,328	△364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,319	△376
非支配株主に係る四半期包括利益	9	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(修正再表示に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当行グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当行グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはクレジットカード業務等が含まれております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	151百万円	204百万円

3. 決算補足説明資料

2025年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

●コア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益や役員取引等利益が増加したことなどにより、前年同四半期比2億44百万円増加の12億32百万円となりました。また、投資信託解約損益を除くコア業務純益は、前年同四半期比2億93百万円増加の12億30百万円となりました。

●実質業務純益は、前年同四半期比4億23百万円増加の11億34百万円となりました。

●経常利益は、実質与信関係費用が減少したものの、株式等関係損益が減少したことなどにより、前年同四半期比2億93百万円増加の12億62百万円となりました。

●四半期純利益は、前年同四半期比3億29百万円増加の8億77百万円となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期比	2024年3月期 第1四半期	(参考) 2025年3月期 第2四半期 累計期間予想
業務粗利益	4,151	533	3,618	
(コア業務粗利益)	(4,248)	(354)	(3,894)	
資金利益	3,839	269	3,570	
役員取引等利益	405	83	322	
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	△93 (△97)	182 (179)	△275 (△276)	
経費(除く臨時処理分)	3,016	110	2,906	
人件費	1,683	57	1,626	
物件費	1,149	48	1,101	
税金	184	6	178	
実質業務純益	1,134	423	711	
(コア業務純益)	(1,232)	(244)	(988)	
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(1,230)	(293)	(937)	
①一般貸倒引当金繰入額	△22	9	△31	
業務純益	1,157	415	742	
臨時損益	104	△122	226	
②うち不良債権処理額	184	△746	930	
③うち貸倒引当金戻入益	—	—	—	
④うち偶発損失引当金戻入益	—	△4	4	
⑤うち償却債権取立益	233	224	9	
うち株式等関係損益	92	△1,062	1,154	
経常利益	1,262	293	969	1,590
特別損益	△0	4	△4	
税引前四半期純利益	1,262	297	965	
法人税、住民税及び事業税	212	△62	274	
法人税等調整額	171	29	142	
法人税等合計	384	△32	416	
四半期純利益	877	329	548	1,070

(参考)

実質与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△71	△955	884
---------------------	-----	------	-----

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 増減欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
 3. 2025年3月期第2四半期累計期間予想は、2024年5月10日に公表した数値であり変更はありません。
 4. コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益
 5. コア業務純益=業務純益-国債等債券関係損益+一般貸倒引当金繰入額

(2) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

●金融再生法開示債権及びリスク管理債権は、単体・連結ともに前年同四半期末比5億円減少し、単体が269億円、連結が270億円となりました。
 ●不良債権比率は、単体が前年同四半期末比0.07ポイント低下し2.32%、連結が同0.06ポイント低下し2.33%となりました。

【単体】

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

	2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	34	34	33
危険債権	233	237	232
要管理債権	0	2	1
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	1	0
小計 (A)	269	274	266
正常債権	11,333	11,190	11,410
総与信残高 (B)	11,603	11,464	11,677
不良債権比率 (A) / (B)	2.32%	2.39%	2.29%

【連結】

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

	2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	35	35	34
危険債権	233	237	232
要管理債権	0	2	1
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	0	1	0
小計 (A)	270	275	267
正常債権	11,347	11,202	11,424
総与信残高 (B)	11,617	11,478	11,692
不良債権比率 (A) / (B)	2.33%	2.39%	2.29%

(3) 自己資本比率(国内基準)

●2024年6月末の自己資本比率(国内基準)[速報値]は、単体が8.29%、連結が8.33%となりました。いずれも規制値(4%)を大きく上回り、十分な水準を維持しております。

【単体】

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2024年6月末 [速報値]	2023年6月末比	2023年6月末	2024年3月末
	(1) 自己資本比率 (2)/(3)	8.29%	△0.26%	8.55%
(2) 自己資本 ①-②	740	11	729	732
コア資本に係る基礎項目 ①	768	16	752	759
コア資本に係る調整項目 ②	27	4	23	27
(3) リスク・アセット	8,929	400	8,529	8,939
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	357	16	341	357

【連結】

(単位:億円) (参考)(単位:億円)

	2024年6月末 [速報値]	2023年6月末比	2023年6月末	2024年3月末
	(1) 自己資本比率 (2)/(3)	8.33%	△0.26%	8.59%
(2) 自己資本 ①-②	745	11	734	737
コア資本に係る基礎項目 ①	777	22	755	769
コア資本に係る調整項目 ②	32	12	20	31
(3) リスク・アセット	8,951	401	8,550	8,962
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	358	16	342	358

(4) 有価証券の評価損益(単体)

●有価証券全体の評価損益は、31億円の評価損となりました。

	2024年6月末			2023年6月末			2024年3月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的の債券	△3	0	3	△1	0	1	△1	0	1
その他有価証券	△28	102	130	△35	64	100	△10	94	104
株式	81	81	0	49	49	0	73	73	0
債券	△45	0	45	△15	2	17	△27	1	28
その他	△64	20	84	△69	12	81	△56	19	75
合計	△31	102	133	△37	64	101	△11	94	106

- (注) 1. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については(四半期)貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので(四半期)貸借対照表計上額と取得価額(又は償却原価)との差額を計上しております。
2. 連結の有価証券の評価損益につきましては、単体と同額であります。

(5) 預金等、貸出金の残高(単体)

●預金等(預金+譲渡性預金)の残高は、個人預金が減少したものの、法人預金及び公金預金が増加したことなどにより、前年同四半期末比173億円増加し、1兆4,991億円となりました。

●貸出金の残高は、事業者向け貸出及び消費者ローンが増加したことなどにより、前年同四半期末比133億円増加し、1兆1,404億円となりました。

	2024年6月末		2023年6月末		2024年3月末	
	(単位:億円)	(参考)	(単位:億円)	(参考)	(単位:億円)	(参考)
預金等(末残)	14,991		14,818		14,378	
うち新潟県内	13,429		13,303		12,842	
うち個人	10,079		10,124		10,004	
貸出金(末残)	11,404		11,271		11,484	
うち新潟県内	7,457		7,467		7,571	
うち消費者ローン	3,711		3,624		3,698	

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(6) 預り資産(末残)の状況(単体)

●預り資産の残高は、投資信託や保険が増加したことなどにより、全体では前年同四半期末比151億円増加し、1,776億円となりました。

	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)
	2024年6月末	2023年6月末	2024年3月末
預り資産	1,776	1,625	1,764
投資信託	730	591	694
公共債	88	93	89
保険	957	941	980

以 上